

社協 鷺二だより

(川崎・三ツ池・各務原町)

第 43 号

2008(平成20年)2月15日

発行 各務原市社会福祉協議会

編集 鷺沼第二連合支部



広報委員会

あと今年度も1ヶ月余を残すのみとなり、年間事業ならびに予算の方もほぼ9割方終わっております。事業の進捗状況については、期初の総会でご承認いただいた通り順調に消化・執行さ



6月 早川弘昭先生講演の様子

社協鷺二 連合支部

五本柱で事業は順調 会員加入で活動財源確保を

支部長代理 岡戸 宏

平成19年度の私たち社協鷺二支部の活動もほぼつづつ総括の時を迎えました。

平松支部長が病氣療養中の為、支部長代理を仰せつかりました私岡戸宏が支部長に代わりまして今年度を以下に総括致します。

れております。これは会員と役員の皆さんの協力や努力の賜物であり、本紙面を借りて御礼申し上げます。

◇年間活動は柱が五本
①講演と話し合いの集い

6月に「福祉と教育」12月には「福祉のまちづくり」の2回実施しました。6月の早川弘昭先生の講演は自らの親の介護や教師経験を踏まえ、人と人との触れ合いや思いやりの大切さに感銘を受け、12月の宮嶋淳先生には全員参加型の話し合いで大いに盛りあげました。

「こんにちは!」地域包括 支援センターかかみ野です。

4月から新しい介護予防の取り組みが始まります。介護保険の認定を受けていない市内在住の65歳から74歳までの方に、市から基本健康チェックリストが送られてきます。簡単なチェックに答えて同封の封筒で返送していただく判定が返ってきます。一定の基準で将来の健康に不安があると思われる



る方には「受診券」も同時に送られてきます。これを持ってお近くの医療機関で検査を受け(自己負担なし)、必要と判断されれば市内各所で行われる介護予防事業に参加していただけることになります。転ばぬ先の介護予防、これを機に健康チェックはいかがでしょう

<平成19年度>鷺二支部社協会員実績

自治会(区)	自治会加入世帯数	会員数	全加入率
川崎	372	312	83.9%
三ツ池	1,486	1,390	93.5%
各務原	1,849	1,390	75.2%
鷺二支部計	3,707	3,092	83.4%
各務原市計	45,058	36,636	81.3%

1. 社協が会員制の理由

社協は法律で各自治体にひとつ設置されています。市社協は定款により、住民に会員になっていただき、地域の福祉課題の解決や相互扶助活動を推進します。この体制と動きに必要な「お金」が会費です。

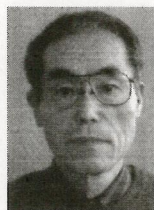
2. 活動財源確保には会員加入率UPを!

平成18年度より支部社協への交付金が減少(40%→35%)するなど厳しい財政の中で活動財源の安定的確保の決め手は何んといっても会員加入率のアップです。

こぎつけることが出来ました。

④地域包括支援センターかみ野との連携
地域福祉活動の中核拠点。ネットワーク強化に今後も取り組んでいきます。

⑤近隣ケアグループ活性化
ボランティアハウスの実現は引き続き要検討課題。



石黒 紀人
(川崎町南)

私は、3期9年間民生・児童委員を務めさせて頂きました。その間、地域の事がよく分かり、地域の方々とのおふれあいも増え、民生委員活動が、有意義に実行出来ました。

幸い川崎南地域の方々は、元気な方が多く、近隣ケアのイベントにも多くの参加があり盛況でした。

今後も、皆さんがお元氣にお過ごしになることを願っています。在任中は、いろいろとご協力有難うございました。



野入 耕作
(三ツ池町)
西1・4

私が共感するお経に元賑濟寺住職の「自隠禪師坐禪和讃」があります。「衆生本来仏なりで始まり衆生の外に仏なし。此の身即ち仏なり」で終わっています。仏様



中村 芳子
(各務原町3丁目)
東・西

は自分自身であり、生きている人総てが仏である。私達の持つている心、思いやりのある心で接する事が、仏の心です。民生・児童委員として12年間、まだまだ福祉には程遠いものでしたが、これからもこの心を持ち続けたいと思います。

色々とご指導頂きましてありがとうございます。本当に良い社会勉強ができました。これからも、地域とのつながりを持ちながら、皆さんと仲良く明るく活きたいと思います。ありがとうございました。



土山 好美
(主任児童委員)
各務原町9

3期にわたり、主任児童委員を務めました。この間、子育て支援、児童健全育成、



来賓の市長、岩田さん、区長さん

活動情報

新そばを
楽しむ会

ニューメニュー登場

個別支援を3本の柱として活動してまいりましたが、地域の皆様のご理解とご支援を賜りありがとうございます。地域福祉など貴重な経験を、今後活かしたいと考えております。



まあステキ、みごとな踊り

フラワークラブ中心に昨年12月2日に開催されました。各務原区、近隣ケア、シニアクラブ、民生委員が協力し合い、そば打ちを行いました。前年通り、独居高齢者夫婦世帯を対象に、役員と共に楽しく食事をしました。

来賓として森市長、岡戸区長等をお迎えし、手打ちうどんの講師として川島町郷土館長の岩田先生をお招きし、楽しい歴史の話とともに指導をしていただきました。催物としては、犬山市ボランティアの方々が来て戴き、昔懐かしい歌と踊りを披露して戴きました。



なつかしいうどん打ち

その後食事会で、特に昨年はメニューが豊富で、手打そば、手打ちうどん、アユごはん、しし鍋等を用意し喜んでもらいました。最後に包括支援センターの方々と健康館のインストラクターによる介護体操を全員で行い解散しました。これからは、高齢者の方々が増えますが、毎年今回の様な行事に一人でも多く参加して戴けたらと思います。昨年度、フラワークラブが市の「花のコンクール」で敢闘賞を受賞しました。こんな活動をしているフラワークラブに一人でも多く参加してもらえればと願っています。

池田 潔

転機は来るべき時に訪れるものと、そうでないものとありますが、今回の民生・児童委員のお話は全く予期せぬことでした。

今迄は、会社を通し社会に貢献させていただきましたが、これからは、自身で直接社会と関わって貢献(奉仕)する機会が与えられたと考えお引き受けしました。

先輩諸氏のご指導を得まして微力ながら任務を全うしたいと思います。よろしくお願いします。



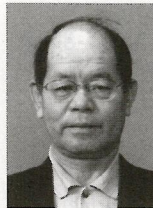
深尾 秀幸
(川崎町北)

新任者の紹介

福祉のまちの担い手 新旧 民生・児童 主任児童 委員ごあいさつ

「広げよう 地域に根ざした 思いやり」このスローガンのもと、地域福祉の担い手として、行政のパイプ役として活動しています。

鶴沼西民協では、平成19年11月をもち、5名の方が退任され、新しい6名の方が厚生労働大臣より委嘱されました。御紹介いたします。



杉浦 洋
(川崎町南)

知識も経験も無い私、先輩諸氏の配慮ある言葉や振舞いで、少し安堵しておりますが、只今、戸惑いと困惑の真只中。そんな中で、仕事の世界しか無かった私に、地域という新しい世界が、開かれようとしています。地域に溶け込み、談笑出来る環境を作りたいです。標に頑張ろうと考えています。どうぞご指導宜しくお願ひします。



平成19年12月1日より民生児童委員を引き継ぐことになりました。地域の方々とお話しをしながら、早く



國定 けい子
(各務原町3丁目 東・西)

少子・高齢化や格差社会が進む中で、福祉制度の充実やボランティア活動は、ますます大切になっていきます。先輩委員の方々と地域の皆様方のご指導やご支援を仰ぎながら地域福祉の充実に務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。よろしくお願いします。



松井 あつ子
(三ツ池町西1・4)

この程、民生委員のお役につかせていただきました。三ツ池町で生活をするようになり15年になります。まだまだ地元のことについては知らないことばかりで迷惑をお掛けすると思います。



徳市 恭子
(各務原町9丁目)

打ち解け、先輩の委員さんの御指導のもと、自らも勉強の場とし地域に役立つ一員になろうと思います。よろしくお願いします。



石黒 勝子
(主任児童委員 三ツ池町3)

この度、主任児童委員をさせて頂くことになりました。子育てでも少し落ちついてきました。我が子が不登校



熊崎 ゆり子
(川崎町北)

退任者の紹介

当時、ごく平凡な主婦の私は何にも理解できないまま、この仕事を引き受ける事に成り、見る物、聞く事、やる事初めての事ばかりでした。先輩達のやさしいご指導と、一生懸命務め様とする仲間達のお陰で、無事12年間務める事が出来ました。長期間、本当に有りがとうございました。

になった時は、多くの方々の力添えがあり、お陰で一歩進み、また立ち止まりしながら、親子で少しずつ成長してこれました。何もわからない状態でのスタートではありますが、先輩の方々のご指導をおおきながら、少しでも地域に恩返しができると思っています。どうぞよろしくお願い致します。

三世代のふれあい万歳 「お年寄りを囲む会」 感動のフェスティバル



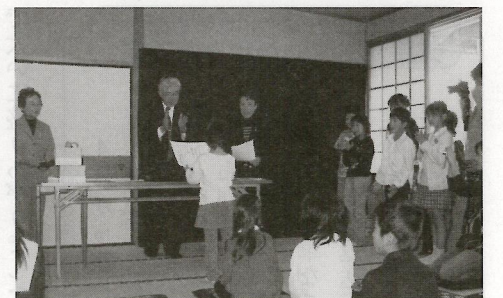
会場の様子(熱心に観て聴いて楽しむ)

参加者は高齢者79名、支部役員、鶴二小、中央小、中央中の生徒、保護者、地域のみなさん(約230名強)でした。

会場内は、小・中学生徒による福祉作文の朗読発表、中央中吹奏楽演奏、大正琴演奏が進むにつれて、「親子・孫」三世代がふれあい、みんなの気持ちが一つになつてのすばらしい雰囲気となりました。



中央中吹奏楽部のみなさん



小・中学生の福祉作文 表彰の様子

小・中学生の福祉作文 表彰と朗読

鶴二小、中央小、中央中29名の表彰の後、鶴二小3年村岡拓海君を含め6名の朗読で、自分の思った事、行動した事、その後の気持ちの変化した事など語ってくれました。

中央中学校 吹奏楽演奏

奥村先生、新田先生指導による、曲目「千の風になつて」「日本民謡メドレー」他30分間すばらしい演奏でした。毎年違う曲目で選曲の苦労がうかがえます。

大正琴演奏

今回は、三ツ池町の「琴三会」の馬場涼子先生含め、10人のすばらしい演奏で会場全体の雰囲気は沸騰点に達した感がありました。



琴三会の大正琴

昼食をしながらの 懇親会

前年度から食事前・後に全員で一斉に「いただきます」「ごちそうさま」をして盛大な交流となりました。

ボランティアさん ありがとう

手作りのタオル地手拭き(幼児ワンピースの様な物)を高齢者、福祉作文表彰の生徒、それぞれの演奏関係者などに配りました。



手作りのタオル地手拭き

昼食時に披露し、感動的でした。三ツ池4丁目のボランティアさん、ありがとう。

お年寄りを囲む会 (福祉フェスティバル) を通じて

高齢者、生徒、保護者、地域のみなさん、ボランティアさん、いろんな形での三世代ふれあい すばらしい事だと思いました。

北野賢治

学校名	学年	な ま え	作 品 名
鷺沼第二小学校	1	たけうち せい	さくらまつりでえんそうしたこと
	2	大しま あや音	ははの日
	2	五しま けん多	田うえ
	3	長谷川 千 紘	あいさつは心のたから物
	3	村 岡 拓 海	ゴミひろいをするといひよ
	4	松 井 日 菜	つづけてできることを見つけよう
	4	土 屋 し 歩	親切ってどういうことなの?
	5	鴻 巣 里 帆	各務原でおきた戦争
	5	櫻 井 南 奈	「笑顔・スマイル」という宝物
	6	石 田 楓 子	世界が広がる言葉
	6	高 木 翔 太	父の手

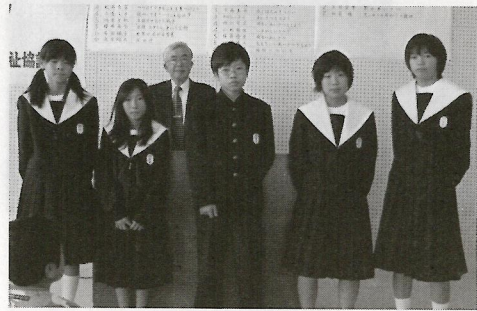


鷺沼第二小学校

児童・生徒の福祉作文表彰



中央小学校



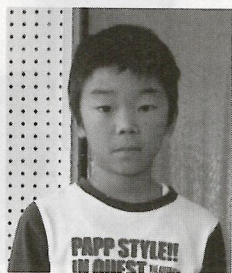
中央中学校

学校名	学年	な ま え	作 品 名
中央小学校	1	なかの かいり	おてつだい
	1	いのうえみのり	ろうじんホームへいったこと
	2	わたなべ 直さ	リサイクル
	2	山 下 博 香	リサイクル
	2	熊 田 祐 也	リサイクルかいしゅう
	3	今 西 あ ゆ	夜ごはんのてつだい
	3	わたなべ みく	あいさつをしよう
	4	丹 羽 萌 花	明るいあいさつをしよう
	4	小 松 祐 佳	いそがしいクラブ
	5	後 藤 優 里	明るいあいさつ
	5	川 端 健 太	気持ちいいあいさつをしよう
	6	石 黒 佑梨菜	福祉について

学校名	学年	な ま え	作 品 名
中央中学校	1	辻 沙 織	中学校で学んだ「時間の大切さ」
	1	袖 野 なつみ	周りの人達の努力
	1	熊 崎 愛 子	美しい各務原にするために
	2	難 波 奇 浩	車椅子のお兄さん
	2	太 田 愛 香	朝のあいさつ
	2	加 藤 瞳	思いやり+関わり=親切



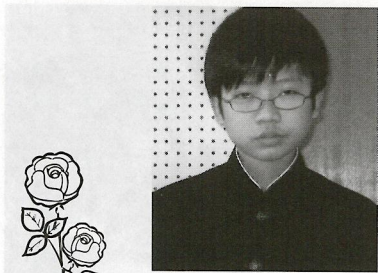
中央小1年
いのうえみのり さん



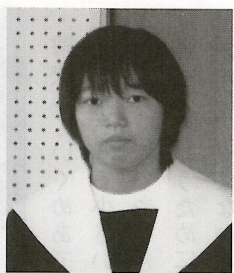
鷺二小3年
村岡 拓海 さん

作 文

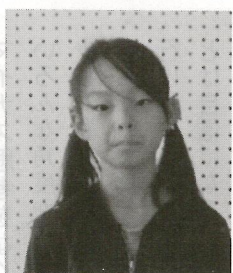
朗読者の紹介



中央中2年
難波 奇浩 さん



中央中1年
袖野 なつみ さん



中央小4年
丹羽 萌花 さん



鷺二小5年
鴻巣 里帆 さん

大好評でした

「福祉の町づくり講演と話し合い」

テーマ
つなぐ・ささえる・ほりおこす



岡戸支部長代理の挨拶



であるつなぐ・ささえる・ほりおこす。地域力(コミュニティ・エンパワーメント)を考えよう。と昨年6月に開催された社協鶴二支部コミュニティ会議でまとめられた意見を絡ませながらの話と、出席者参加型の楽しい集いとなった。

＜内容として＞

(1) 何と何を「つなぐ」のか

表面的に見れば、この地区はすこしややすい町。自治会を中心に各種団体がきちんと成立しているから目的があればそれぞれがつなぎ

(2) 生活を「ささえる」ということは

ささえあうことは、町づくりの基本である。このことを難しいと考えるのではなく「あいさつ」一つとってもあたり前のことと住民全体がその考えを共有してい



真剣に挙手をしています

(3) ヒト・モノ等を「ほりおこす」ことは

ここで宮嶋先生は、昨年6月のコミュニティ会議を取り上げ、小グループを編成し問題となった事項をメモしたカードをもとに地域の問題について話し合った。その話し合う輪がしだいに狭まり頭がつくほどになり真剣なムードが生まれてきた。各班からの発表を聞きながら先生は以下のようにまとめられた。

・人材を発掘していくこと。そして何に取り組んでいけば地域のためになるかを皆で考え、その思いを共有すること。



ユーモアある話に聞き入ります



しだいに熱心になっていきます

・解決していくめあてのハードルを低く小さいものとする。皆でやりきれた実感を味わうために。
・ダメだ、出来ないというマイナス思考をなくし、いろんな角度から考えて少しでもプラスに。
・考えたことは、活用し実行に移すこと。やれたことは自信になる。

以上参考にして。

＜まとめとして＞

講演会后、数年参加しているAさんから「こんなに有意義な話し合いは今までになかったよ」との声。結論としても話し合う時期でなく一歩でも踏み出す実践期であろうと思う。

千葉俊彦

講師紹介



中部学院大学
准教授 宮嶋 淳 先生

親しみやすい話し方で参加者から必要な意見を取り上げて進めていく独特な方法での講演スタイル。

社会福祉学専門
元 多治見市社会福祉協議会常勤
厚生労働省介護支援専門指導者

昨年12月8日「福祉のまちづくりの集い」が住民約百名を集めて開催された。病気療養中の平松支部長も久しぶりに挨拶された。支部長代理を務められた岡戸各務原区長が今年度の2つの講演会の主旨「地域力を考えよう」を説明、自治会もそれに対してもっと興味を持っていかねばと話された。

講演は、宮嶋先生の持論